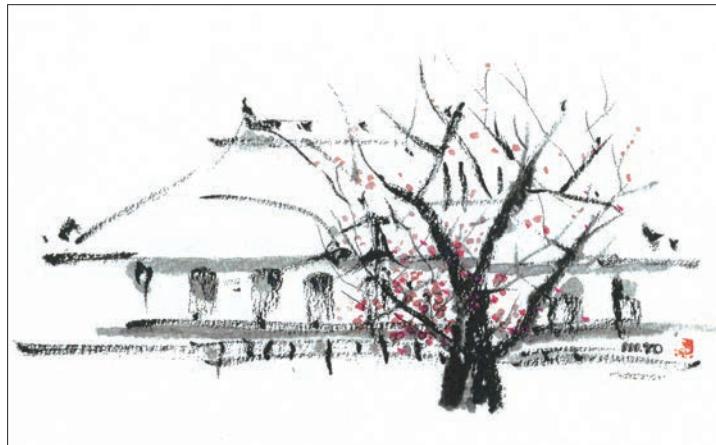


(2021~2022年度 国際ロータリー・テーマ)



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



「梅香る弘道館」(水戸市)

## 117クーペの幻想夢

益子 一彦 (設計)

当時皇太子だった上皇様ご成婚の年の暮れ、東京タワー誕生からちょうど1年後、大子の山の中で僕は生まれた。

時代は数年前の朝ドラ「ひよっこ」と重なる。当時の県北の僻地はドラマの中の奥茨城よりも遙かに貧しく薄汚れていた（木村佳乃のような透明感のあるかあちゃんはいなかった）。テレビも電話もなく、新聞とラジオだけが世の中を知る手段だった。道路は凹凸だらけの砂利道を、時折に町から客を連れてくるタクシーや山から材木を運び出すトラックが走っていた。近所に自動車を持つ家もなく、父親が駆るホンダドリーム号が唯一身近にある動力の付いた乗り物だった。それでも僕が小学校に入学するころ、ホンダT360がテレビと前後して家にやってきた。T360は4気筒4キャブレター付きDOHCエンジンをミッドシップに積むホンダ初の四輪車だった。

小学校に入った頃の僕は、（実物の車などとともに見たこともないくせに）何かに憑かれたようにいつも車の絵ばかり描いていた（らしい）。それも3年生の頃になると、新聞の広告欄や白黒テレビから旺盛に情報収集し、トヨタ2000GTやトヨタ7も自作の中にストックしていった。その頃トラックの購入を目論む父のところにいすゞのセールスマンが頻繁に通つて来ていた。そして、風変わりな子どもであった（であろう）僕に必ず土産を持ってきてくれた。

最初のそれは発表されたばかりのベレットGTのカタログだった。ベレットという乗用車から派生した

ベレットGTはノッチバックとファストバックのふたつのボディタイプをもつ個性的な2ドアクーペだった（その上位にGTRなるグレードが君臨した）。僕はカラー刷りの車の写真に見入り、スペックを暗記し、三面図を夢中で模写した。片時も離さなかつたそのカタログはあっという間にぼろぼろになった。

擦り切れたそれは（たぶん）彼の目にも留まり、父のエルフの納車と同時に初期型117クーペのカタログをくれた。初期型（1972年以降の後期型とは明確に区別される）117クーペは、イタリアンカロツツェリアのジェルジエット・ジュージアーロがデザインした繊細なピラーをもつグラッシーな4シータークーペだった。G161W型の高性能なDOHCエンジンを搭載し、ハンドメイドで生産され、価格もトヨタ2000GTに迫る高級車だった。

そのカタログもまたとびきり高級だった。冊子ではなく、LPジャケットの体裁をした硬質なカバーの中に二つ折りにされた数枚のリーフレットが挿入されていた。伝説の有償カタログで（当時は知る由もなかつたが）、一世一代の勝負を賭けて2tトラックを購入する（117クーペのオーナーになることなど期待できない）家の青漬を垂らした小倅には似つかわしくないものだった。

10歳の僕は毎晩その豪奢なジャケットを抱いて煎餅布団に潜り込み、次の117クーペを描く自分を夢見た。けれども、その夢の中にやがて建築家が割り込み、高校を卒業するまで僕は両者の間を彷徨った。

No. 25 2022・2・8

1951年3月6日設立  
1951年3月15日RI認証

■事務所

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階

TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825

E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>

■例会日  
毎週火曜日・12時30分  
常陽銀行本店8階

## 【卓 話】 私の履歴書

中條 太志 会員（損害保険業）



私は昨年4月に寺門会員、内藤会員のご紹介で入会させていただきました。

1965年10月28日に大阪市住吉区で生まれました。現在も家族は大阪市に住んでおり現在単身赴任10年目です。

幼少期の頃より近くの長居公園で同級生たちと野球に明け暮れておりました。人気のポジションはピッチャーというのが定番ですが、私はなぜかみんなが嫌がるキャッチャーを進んで選んでいました。TVで観るキャッチャーが着けているプロテクターやレガースに憧れを持っていたのです。結局、それらを買ってもらう事はできず身体を張ってボールを止めていました。身体が小さかったので途中からポジションはショートになり、結局野球は大学1年生まで続けました。

私の高校は弱小野球部でしたが、3年間一日も休むことなく練習しやり遂げられたことは、何らかの形で現在に活きているのではないかと思います。高校時代の一番の思い出は、やはり最後の試合です。1983年7月に日生球場で大阪府予選が開幕し、幸運（？）にもその開幕試合に出場しました。結果は7回コールド負け。大阪府で一番最初に引退する学校になりました。その大阪府予選を制したのが、高校1年生だった清原、桑田を擁するP.L学園です。皆様ご存じのようにP.L学園はその後甲子園でも優勝して全国にK.Kコンビの名を知らしめました。大学卒業までは大阪の実家で暮らしておりました。両親ともに自営業を営んでいる家庭で育ち、会社に入るまで引越しは一度も経験したことありませんでした。

趣味はクルマとゴルフです。小さなころからクルマ好きでしたが、1970年代のいわゆる『スーパーカーブーム』で同級生たちがカメラを片手にスーパーカーを追いかけていた中、なぜか私は国産車にしか興味はありませんでした。ある

意味で当時から自分の身の程を知っていたのではないかと思います。当時の私は国産車の名前はほぼ覚えており、父の運転でドライブしている時にすれ違うクルマや前を走っているクルマの名前を当てて周囲の大人を驚かせていました。クルマ好きは大人になっても変わらず、高校卒業と同時に運転免許を取得してから38年間で13台のクルマを乗り継いでおります。損保業界に就職したのもクルマと深い関係があり、学生時代に同級生とクルマで北海道旅行を行った際にクルマが一回転する大事故を起こしました。いわゆる全損事故で保険会社に大変お世話になつたため志望した次第です。

もうひとつの趣味はゴルフです。茨城県は素晴らしいゴルフ場がたくさんあるのでゴルファーにとっては天国です。水戸RCのゴルフ同好会にも参加させていただきゴルフライフをエンジョイさせていただいております。ところで、ゴルフを嗜む者にとって一生のうちに達成したい3つのことを聞いたことがあります。一つ目はホールインワン、二つ目はエージシュート、最後にシングルハンディです。いずれも達成することは夢のようなものですが、その内のホールインワンについて話をしたいと思います。一般的にホールインワンは3,000ラウンドに一回の確率と言われています。週一ゴルファーでも60年かかる計算です。そのような幸運に恵まれて達成したホールインワンなので本来は、周囲の人々がお祝いをしてあげるのが当たり前のですが、日本では幸運のお裾分けと言う意味でホールインワンを達成した人が記念品や祝賀会を負担することが習わしになっています。お祝い事であるにもかかわらず出費が多大になる場合もあるため、まさにホールインワンは事故であるということでホールインワン保険が誕生しました。ただし、ショートコースのようなPar35に満たないコースや9ホールを有さないゴルフ場は対象にならないので、注意が必要です。また、昨今ではセルフプレーが多くなってきていてるので、原則保険の対象とならないですがホールインワンを達成したことに違いありません。

# 例会報告

2月第2例会（オンライン）

司会 小川(洋)委員

## ◇ 会長の時間

岡崎会長

新型コロナウイルス・オミクロン株拡大の影響で、昨年8～9月以来のオンライン例会となりました。今回、次回とオンラインにてよろしくお願ひいたします。第4例会は翌日が天皇誕生日のため年間計画で休会としております。3月以降につきましては理事会で協議の上、お知らせいたします。

さて、先週1日夜は、篠崎サポート委員長、ロータリーを楽しむ会、オンラインでの開催ありがとうございました。マスクをはずしあわいの顔を見ながら、そしてお酒も飲み、楽しい一時を過ごすことができました。講話としてJR小川(一)支社長のお話がありましたので、鉄道マニアの知識や経験が披露され大変盛り上がりました。

また、2月5日(土)には第2820地区第3分区インターナシティ・ミーティング(IM)が開催されました。例年ですと多くの会員に参加いただく会合ですが、今回は白田幹事と私のみ参加しました。皆様には後ほどクラブに届きますDVDを何らかの形で視聴いただきます。各クラブの奉仕活動報告、水戸RCは白田幹事に報告いただきました。その後、「地球温暖化防止推進活動スキルアップ研修会」の演題で東京大学名誉教授 山本良一 先生の記念講演がございました。山本先生は水戸市浜田のご出身だそうです。2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明自治体が2021年時点で300以上あるそうです。地球温暖化防止は至急対策が必要であることを説明いただき、ロータリアンからも各自治体に働きかけるよう要望がありました。

それでは、本日もよろしくお願ひいたします。

## ◇ 出席報告

山口(晃)委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
122名	72名	50名	65.45%

前週訂正出席率 86.32%

## ◇ 会員メークアップ

2/2 北海道2500REC 磯崎 寛也

2/5 第3分区IM 岡崎恵一郎、白田 礼治

## ◇ 幹事報告

白田幹事

1. 2022～2023年度ロータリー財団地区補助金管理セミナーが、Zoom開催されます。

とき 2月26日(土)

Zoom接続開始 9:30

開会 10:00

閉会 12:00予定

内容 次年度地区補助金プロジェクト申請について

出席者 大久保博之 ガバナー・ミニー、成田 浩明 次年度国際奉仕委員長、他、地区関係者

2. 近隣クラブ例会変更及び休会について

・水戸さくらRC 2月14日(月)・21日(月)

一定款第7条第1節により休会—

・水戸南RC 2月18日(金)オンライン例会

3. 2月15(火)はオンライン例会となります。

例会情報は別途メールにてお送りいたします。

また3月の例会については、状況を見極めつつ、改めてご報告いたします。



週報担当 長野 久嗣 委員長

## 例会予告

2月22日(火)

— 定款第7条第1節により休会 —

於 ホテルテラス ザ ガーデン水戸  
3月 1日(火)

—イニシエーションスピーチ—

卓話「ターニングポイント」

津田 祥一 会員

3月 8日(火)

卓話「いのちの電話活動報告」

茨城いのちの電話水戸事務局



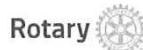
2022年3月12日(土)

国際ロータリー第2820地区 2021-22年度 ロータリー青少年指導者養成プログラム

# RYLAセミナー参加のご案内

## ハイブリット形式開催のお知らせ

第42回 第2820地区ライラテーマ  
「学ぼう!SDGs…  
～今自分にできること～」



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために  
2021-22年度  
RI テーマ

日 時 2022/3/12(土) 受付開始 8:30 開会 9:00 閉会 20:00

場 所 阿字ヶ浦クラブ 茨城県ひたちなか市阿字ヶ浦9番地

参加資格 地区内のロータリークラブより推薦を受けた満14歳以上の男女及びロータリアン、米山奨学生、青少年奉仕委員長

参加人数 青少年 60名 ロータリアン 40名 計 100名

参加費用 8,000円 ※オンライン参加者は無料

参加申込 申込書・推薦書を記入し、所定のアドレスに送信、所定の口座に参加費のお振込をお願いします。✉ rid2820ryla@gmail.com

振込先 常陽銀行 研究学園支店  
普通 3976726 ライラ委員会 会計 高田 稔美

申込期限 2022年2月28日

問合せ先 国際ロータリー第2820地区  
2021~2022年度 青少年並びにライラ委員長 高田 稔美

📞 090-7739-4069 ✉ tcc@pop02.odn.ne.jp

ロータリー青少年育成プログラム  
「RYLA」(Rotary Youth Leadership Awards) は、14歳からの青少年を対象とする集中研修プログラムです。

新世代の会員にとって RYLA は技術を磨き同世代の仲間や人生の先輩達と共に、関連性のある主題について探求する機会を提供します。また、ロータリアンにとって RYLA は、指導者を育て、貴重な専門知識や技能を分かち合い、世代間の溝を埋めるのに貢献できる機会を提供するものです。

…… 例会欠席の方は、4日前までに事務局までご連絡下さい。……